



このまち思いエネルギー。

広島ガス

2024年度決算 説明資料

2025年5月26日

本日のご説明内容

1. 2024年度 決算実績
2. 広島ガスグループ中期経営計画
3. トピックス

1. 2024年度 決算実績

- (1) 都市ガス販売量実績
- (2) 経営成績
- (3) セグメント情報
- (4) 経常利益の変動要因
- (5) 財政状態
- (6) 2025年度 業績予想
- (7) 株主還元方針

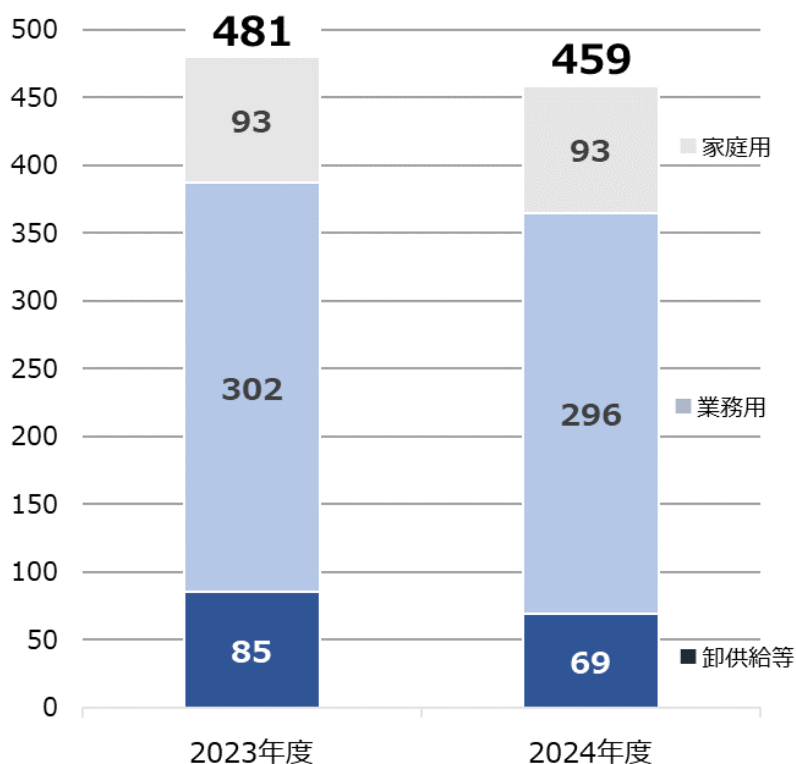
1. 2024年度 決算実績

(1) 都市ガス販売量実績

都市ガス販売量

459百万m³ [前期比：▲21百万m³ (▲4.4%)]

(単位：百万m³)



◀家庭用▶ 93百万m³
前期比 +0百万m³ (+ 0.0%)

- 前期並み

◀業務用▶ 296百万m³
前期比 ▲5百万m³ (▲ 1.9%)

- 既存大口需要家の事業撤退の影響 等

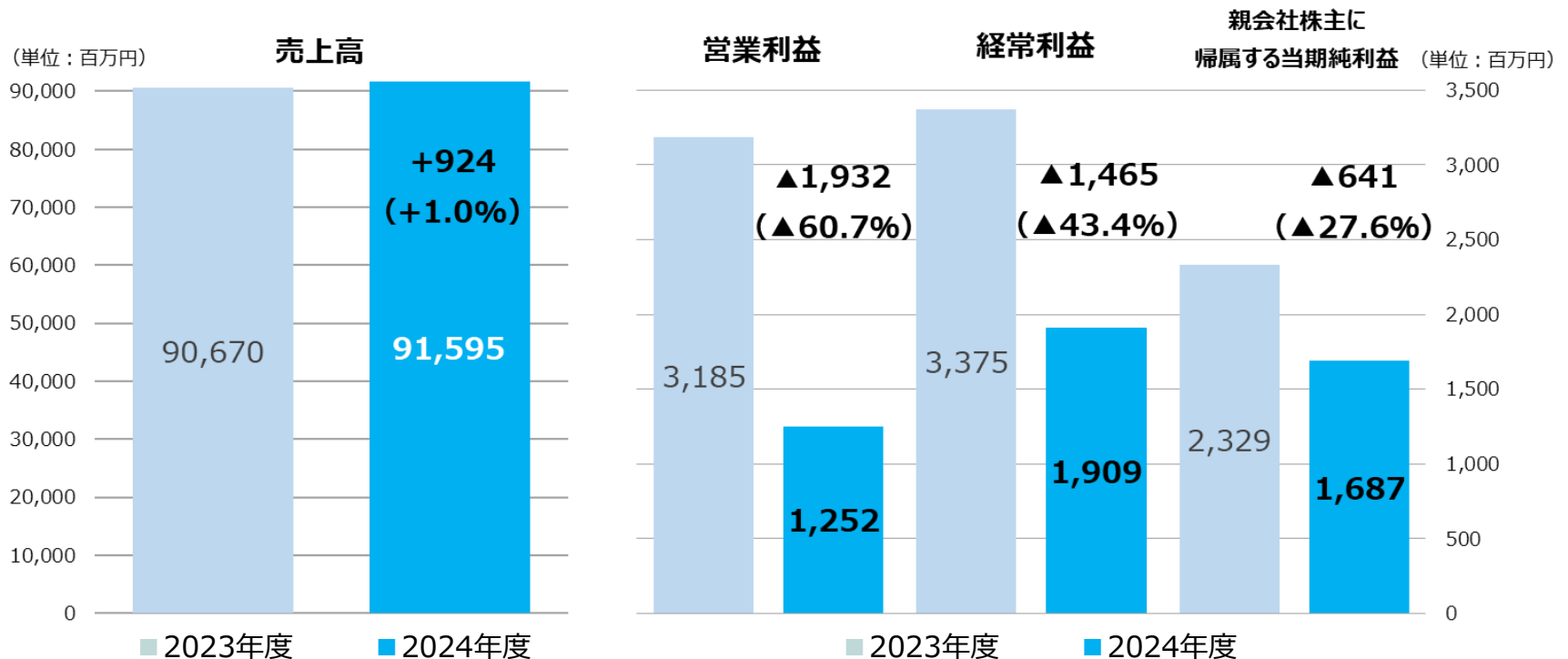
◀卸供給等▶ 69百万m³
前期比 ▲15百万m³ (▲18.5%)

- 卸供給先の需要家への販売量の減少 等

1. 2024年度 決算実績

(2) 経営成績

- **売上高増収**（2期ぶり）：LPガス販売単価の上昇等によるLPG事業の増収
- **経常利益減益**（2期連続）：ガス事業における減益



	2023年度	2024年度	増減
原油価格 JCC (\$/bbl)	86	82	▲4
為替レート (円/\$)	145	153	8

(注) JCC(=Japan Crude Cocktail)：全日本に輸入される原油の月間の加重平均入着(CIF)価格



1. 2024年度 決算実績

(3) セグメント情報

		2023年度	2024年度	増減	増減率
ガス事業	売上高(※)	71,104	70,693	▲ 411	▲0.6%
	営業利益	2,629	550	▲ 2,079	▲79.1%
LPG事業	売上高(※)	17,160	17,981	821	4.8%
	営業利益	280	417	137	48.9%
その他	売上高(※)	2,405	2,920	514	21.4%
	営業利益	120	214	94	78.5%
調整額	売上高	-	-	-	-
	営業利益	154	70	▲ 84	▲54.5%
計	売上高	90,670	91,595	924	1.0%
	営業利益	3,185	1,252	▲ 1,932	▲60.7%

(※)売上高は各セグメントの外部顧客に対する売上高

《ガス事業》

減収減益

- ガス販売量の減少により減収
- スライド影響および前期に計上した未達補償料の反動減により減益

《LPG事業》

増収増益

- 販売単価の上昇

《その他(建設事業、高齢者サービス等)》

増収増益

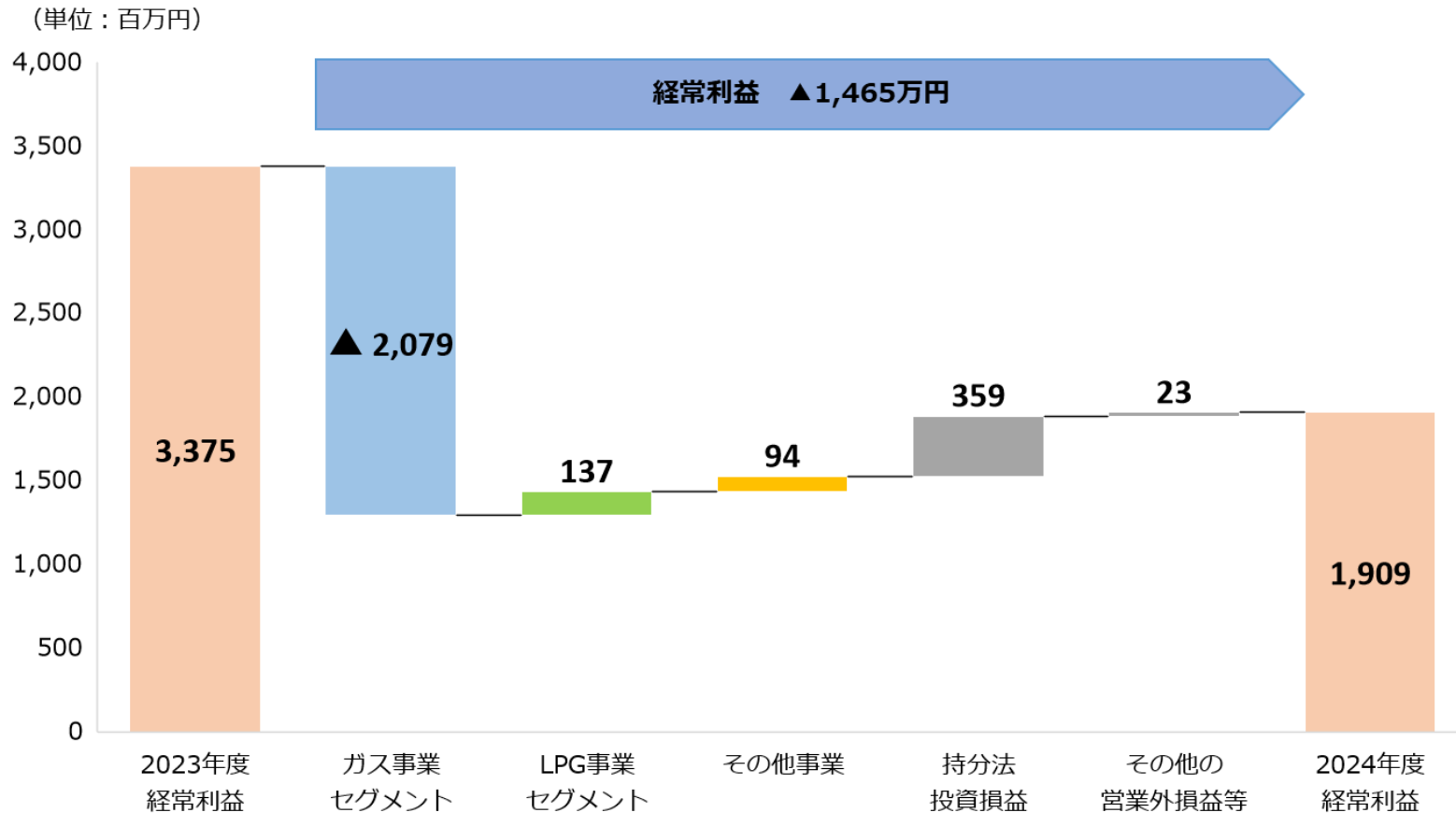
- 建設工事売上の増加等



1. 2024年度 決算実績

(4) 経常利益の変動要因

- ガス事業の減益等により、経常利益は前期に比較して減益

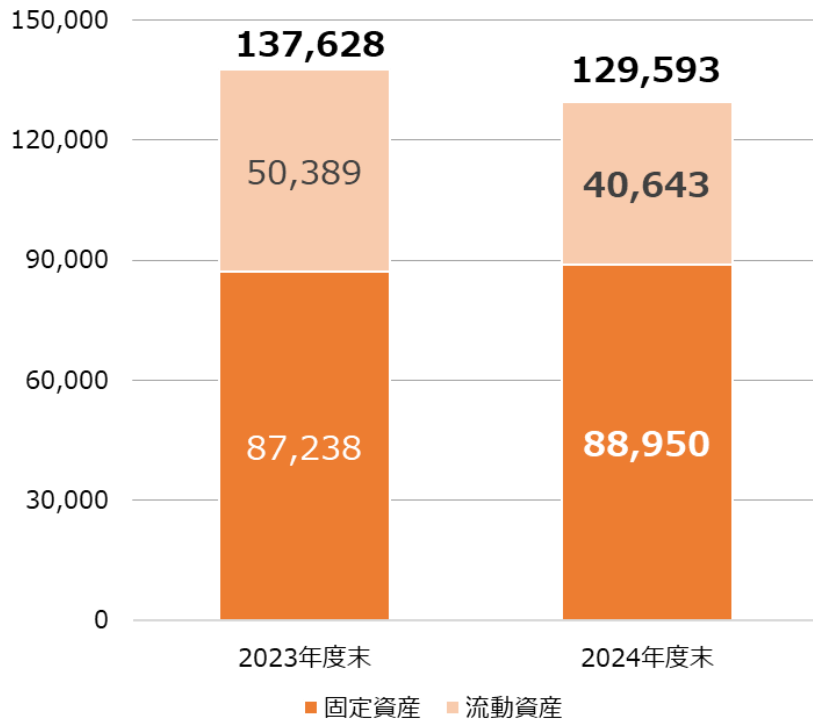


1. 2024年度 決算実績 (5) 財政状態(貸借対照表)

- 総資産：対前期末比 ▲8,034百万円 (▲ 5.8%)
- 負債：対前期末比 ▲9,114百万円 (▲13.6%)
- 純資産：対前期末比 +1,079百万円 (+ 1.5%)
- 自己資本比率 52.7% (+3.9ポイント)

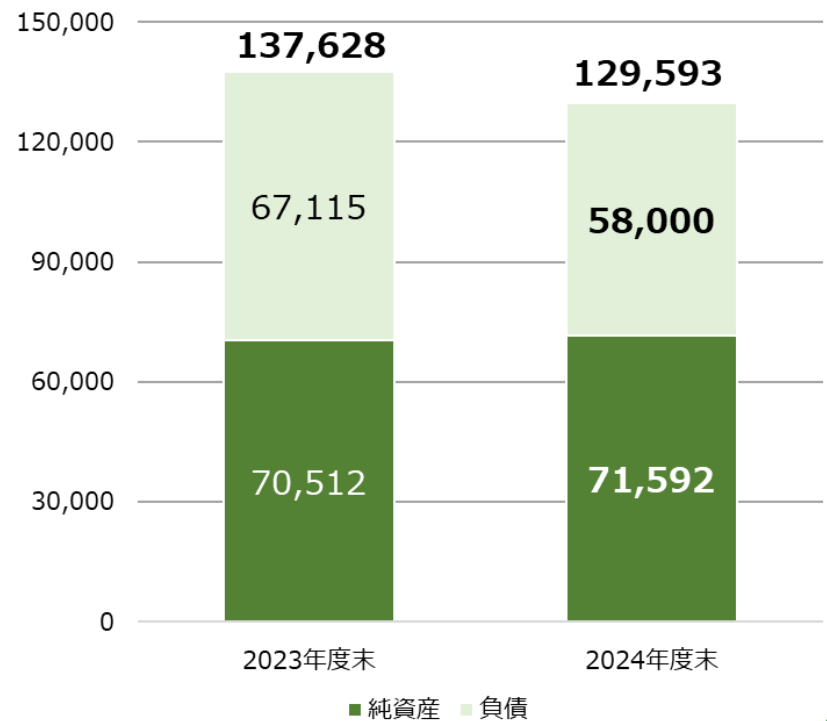
(単位：百万円)

総資産



(単位：百万円)

負債純資産

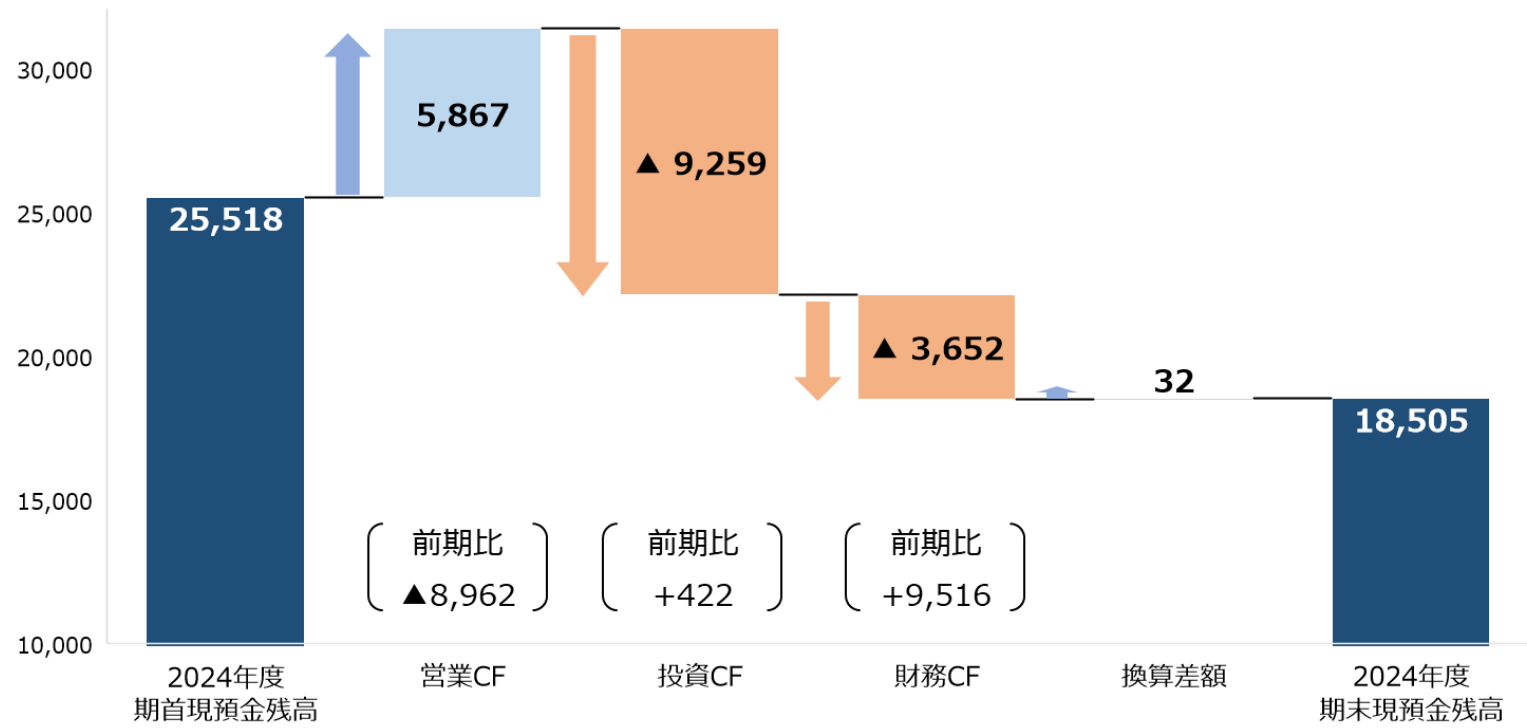


1. 2024年度 決算実績

(5) 財政状態(キャッシュ・フロー)

■ 現金及び現金同等物増減額 ▲7,012百万円

(単位：百万円)

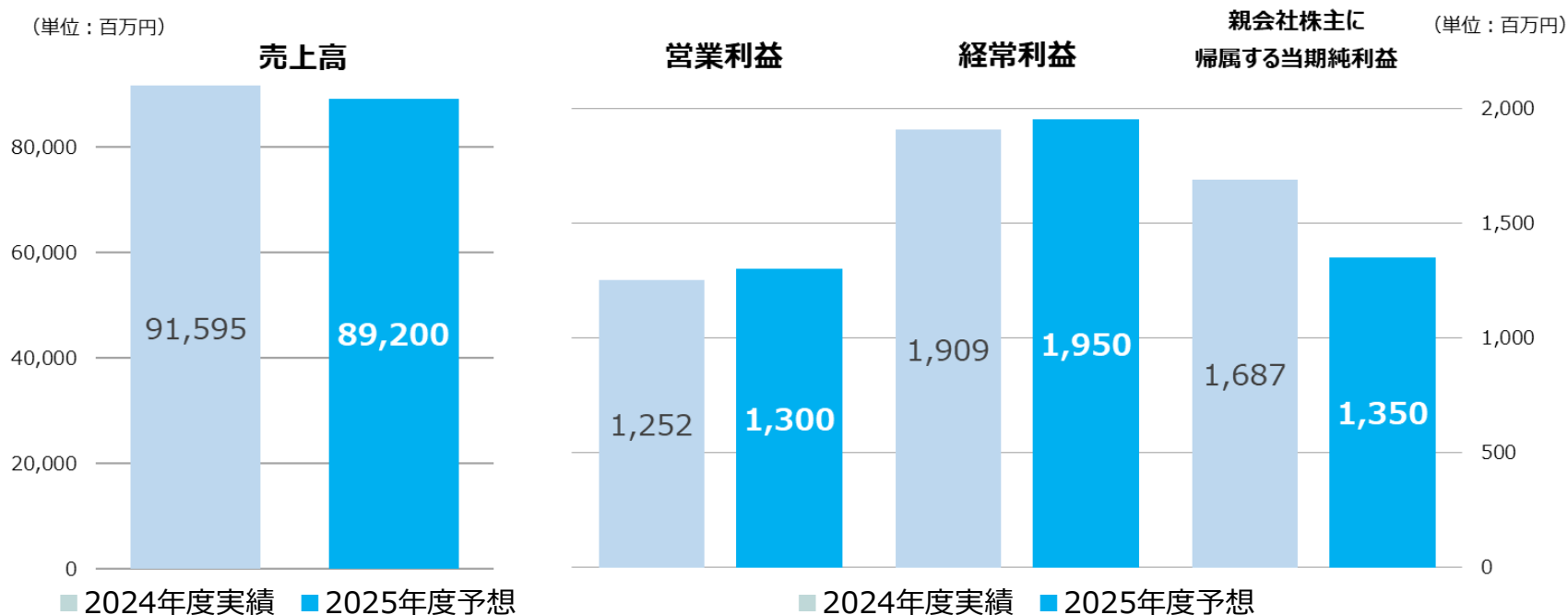


	2023年度	2024年度	増減
設備投資額	9,971	9,064	▲907
減価償却額	7,352	7,555	202



1. 2024年度 決算実績

(6) 2025年度 業績予想



《前提条件》

	2024年度実績	2025年度予想	増減
都市ガス販売量 (百万m ³)	459	471	11
原油価格 JCC (\$/bbl)	82	75	▲ 7
為替レート (円/\$)	153	150	▲ 3

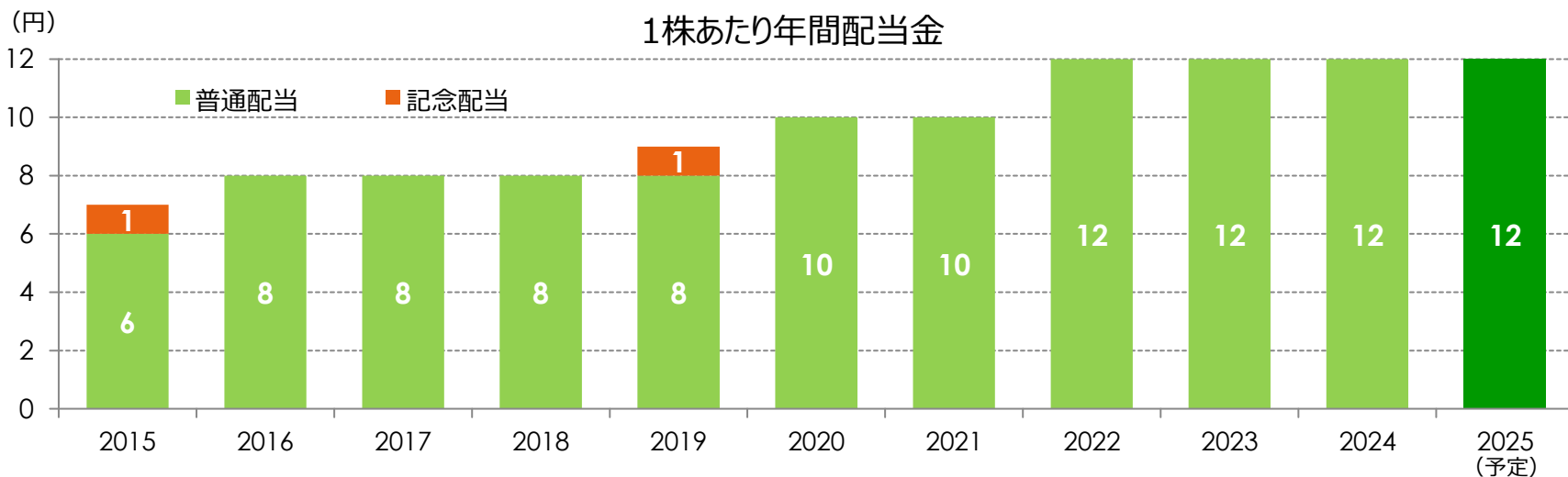
(注) JCC (=Japan Crude Cocktail) : 全日本に輸入される原油の月間の加重平均入着 (CIF) 価格



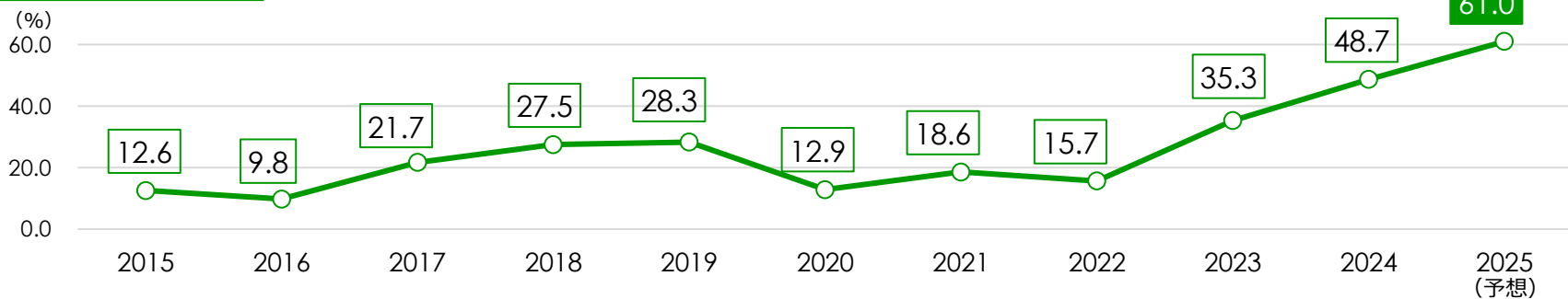
1. 2024年度 決算実績

(7) 配当政策

- 配当の実施にあたっては、安定的・継続的に配当を行う基本方針のもと、短期的な利益変動要因を除き、連結配当性向30%以上を今後も維持していく
- 2025年度も前年度水準の配当（年間12円）を維持予定



配当性向推移



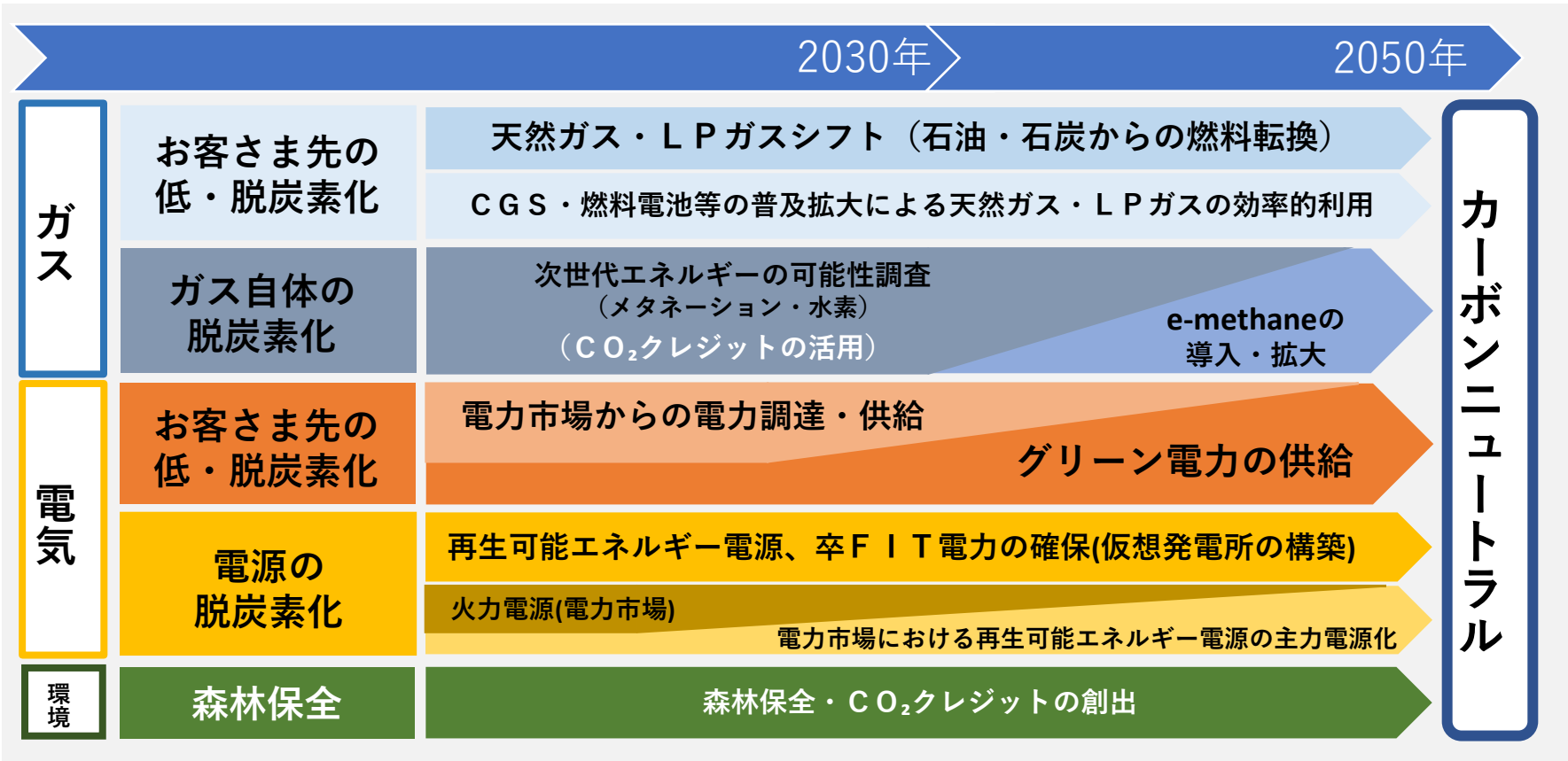
2. 広島ガスグループ中期経営計画

- (1) 2050年カーボンニュートラルに向けた取り組み
- (2) 2025年度中期経営計画のポイント
- (3) ガス需給・設備投資計画

2. 広島ガスグループ中期経営計画

(1) 2050年カーボンニュートラルに向けた取り組み

- トランジション期においては、**天然ガス・LPガスシフトの推進が中心**
- 合わせて、メタネーションや水素・アンモニアの活用による「ガス自体の脱炭素化」に取り組む
- 電気分野では、**電力小売り**と再生可能エネルギー**電源の開発の両輪**でカーボンニュートラルを目指す



2. 広島ガスグループ中期経営計画

(2) 2025年度中期経営計画のポイント①

ガス事業と電力事業の両輪で持続的な成長を目指す

2050年カーボンニュートラル 

2030ビジョン目標 

2025年度中計

都市ガス・LPG事業の「深化」

ガス供給を起点とした

総合エネルギーサービスの拡充

快適な暮らし(家庭用)最適な事業運営(業務用)を支える電気を含めたサービスの実施

イノベーションの「創出」

電力事業の拡大

新たな料金メニューとサービス展開エリアの格段な拡張
再エネ電源の開発

価値創造に向けて成長原資を再分配

経営基盤の「強化」

組織の全体最適化・DX



2. 広島ガスグループ中期経営計画 (2) 2025年度中期経営計画のポイント②

①都市ガス・LPG事業の「深化」

安心・安全を大前提に、総合エネルギーサービス事業者として市場拡大に挑戦
健全な事業運営を通じて持続的な成長を実現する

都市ガス事業

安心・安全の追求

- ✓ 消費段階での安心・安全の取り組みを強化
 - ・ お客さまへの安全周知・啓発活動の強化

市場の拡大

- ✓ 家庭用
 - ・ 電気を含めた総合エネルギーサービス提案の強化
 - ・ 快適な暮らしを支える周辺サービスの強化
- ✓ 業務用・工業用
 - ・ 石油・石炭等からの燃料転換や新規獲得営業の継続
 - ・ エネルギーサービス等を含むソリューション営業の強化

持続可能なガス事業運営

- ✓ 収益構造の適正化
 - ・ 市場やコスト変動に応じたサービスや価格の適正化
 - ・ 効率性を重視した投資判断の更なる強化

LPG事業

燃料転換の推進

- ✓ 工業用を中心とした産業用ガス販売量の拡大

総合エネルギーサービス事業者へ

- ✓ LPガス事業者から総合エネルギーサービス事業者へ
 - ・ 電力小売事業への参入により取扱可能となったビジネスモデル・商材等の販売強化

事業内容の変化イメージ



2. 広島ガスグループ中期経営計画

(2) 2025年度中期経営計画のポイント③

②イノベーションの「創出」

電力小売り事業を拡大、新たな料金メニューとサービス展開エリアの格段な拡張

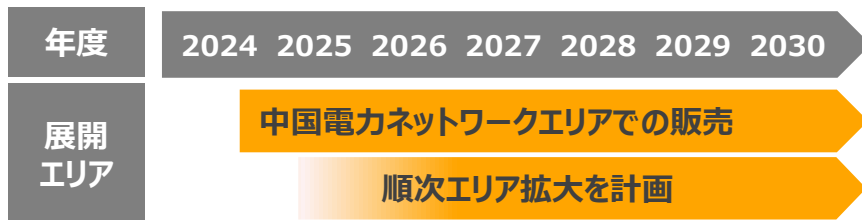
電力事業の拡大

- ✓ 更なるエリア拡大を計画・実施
- ✓ 代理店網拡大に向けた営業活動の実施
- ✓ 代理店支援体制の構築と拡充

既存メニューと新メニューの比較

	既存メニュー	新メニュー
名称	エコプランM/L	このまち電気
料金形態	従量料金固定 (従量料金が固定されており、燃料調整費制度がある)	市場連動型 (市場電力量料金によって従量料金が変わる)
販売対象	制限あり (当社グループのガス需要家のみ)	制限なし
展開エリア	グループ会社のガス供給エリアのみ	中国電力NWエリア 全域
販売チャネル	広島ガスグループ代理店 Web等	広島ガスグループ代理店 グループ外代理店 Web等

事業展開イメージ



(万件)
10

5

順次、サービス展開エリアを拡大
契約件数 10万件を目指す

0

2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030

(年度)



2. 広島ガスグループ中期経営計画

(2) 2025年度中期経営計画のポイント③

②イノベーションの「創出」

再生可能エネルギー電源の開発を継続拡大

蓄電事業におけるLNG冷熱の有効利用

✓ LAES※商用実証プラントの建設

- 再生可能エネルギーの普及や電力需給の安定化に資するLNG冷熱を活用した蓄電事業
(住友重機械工業(株)と共同実施)
- 2025年実証運転開始に向け、建設工事中



建設中のLAES商用実証プラント(廿日市工場内)

再生可能エネルギー電源の開発

- ✓ 国内材を利用したバイオマス発電事業
- ✓ 小形風力発電事業の開始



建設予定の小形風車



小形風力発電所建設予定地

※LAES: 液化空気エネルギー貯蔵の略称。
余剰電力で空気を液化し、再気化で発電する技術

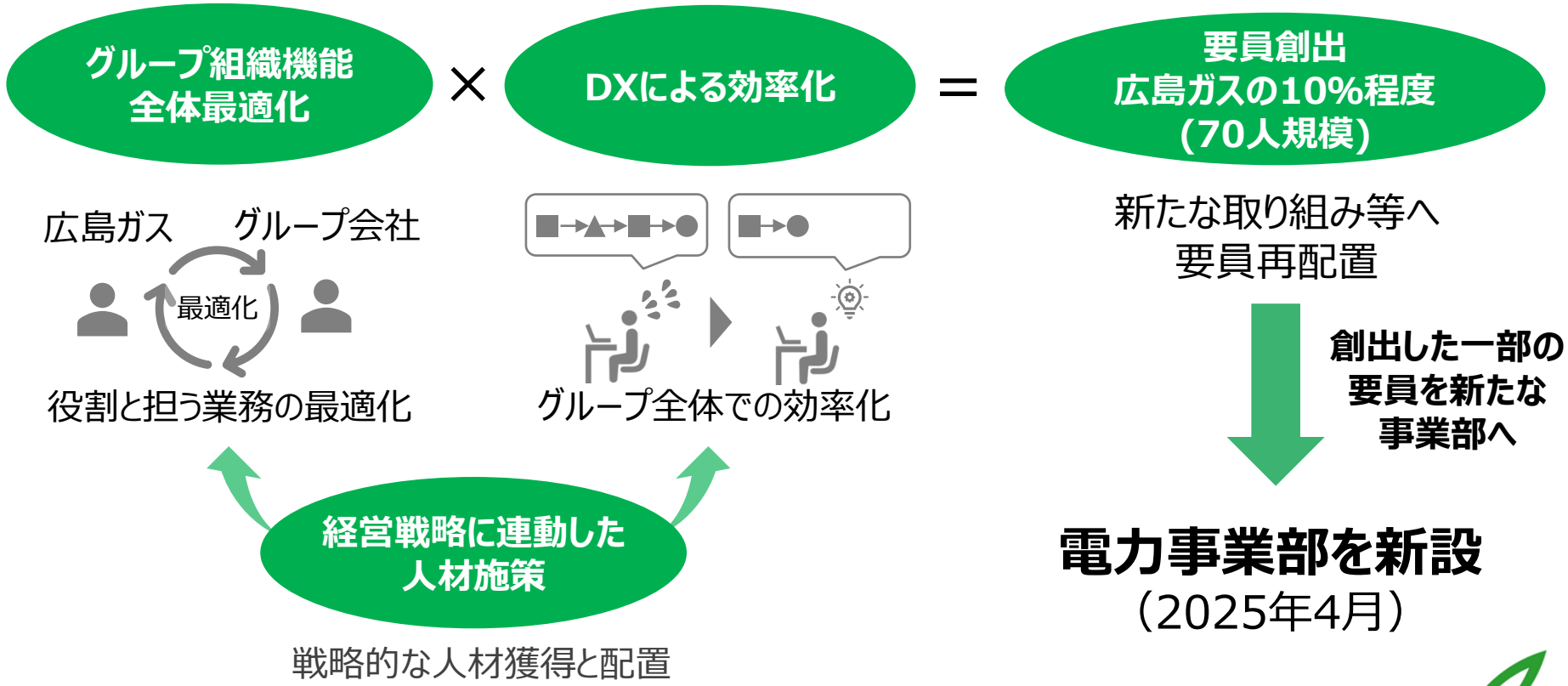


2. 広島ガスグループ中期経営計画

(2) 2025年度中期経営計画のポイント④

③経営基盤の「強化」

人的資本※の価値向上と要員創出のための業務改革を継続して実行
電力事業をはじめとする新たな取り組みへ要員を再配置



※人的資本とは、社員一人ひとりの知識・スキル・経験・創造性などを、企業の成長を支える重要な資産として捉えることを指す
当社では、社員が自身の能力を高めるとともに、より活躍できる環境を整えることで、企業価値の向上につなげることを目指す

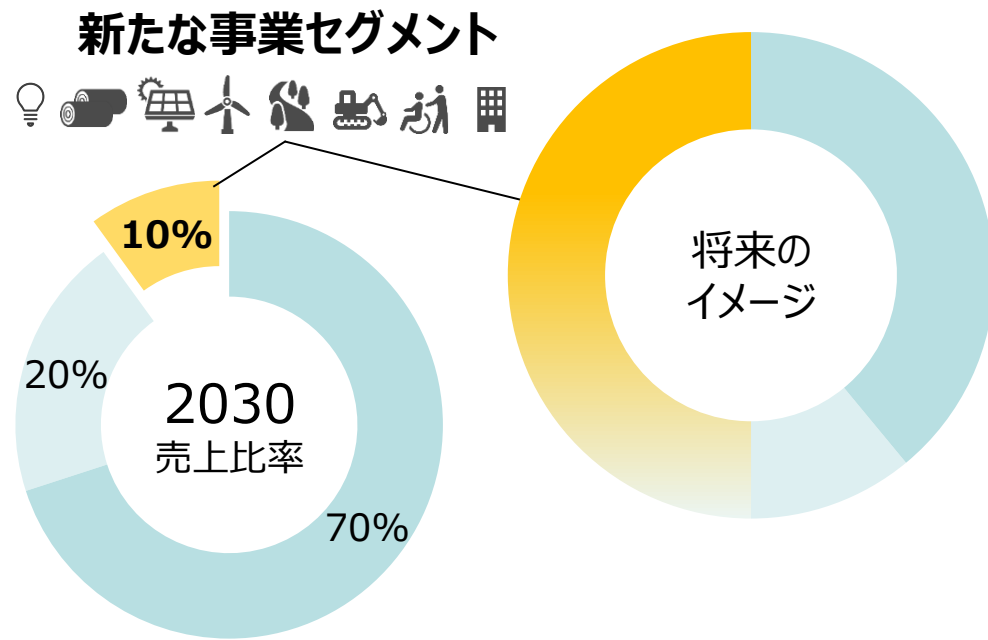
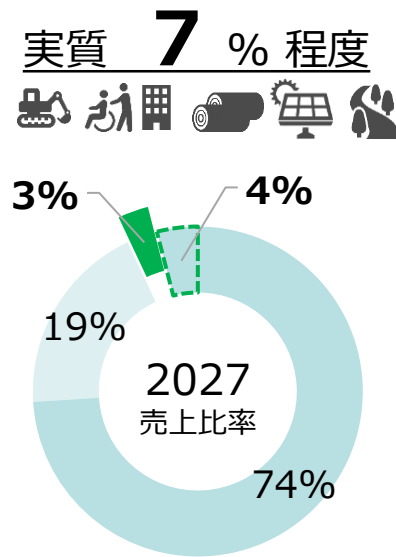
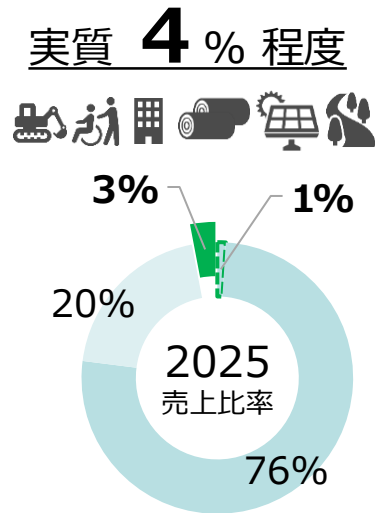


2. 広島ガスグループ中期経営計画 (2) 2025年度中期経営計画のポイント⑤

④ 事業ポートフォリオについて

電力事業の拡大と、新セグメントとしての確立・拡大を目指す

新たな事業セグメント



2025年度中計期間

2030ビジョンからその先へ

凡例	: 都市ガス事業	: その他事業 2030年度以降は、電力小売り・再エネ・建設工事・介護・保険代理店等
	: LPG事業	: 電力小売り・再エネ等（現状、都市ガス事業に含むもの）



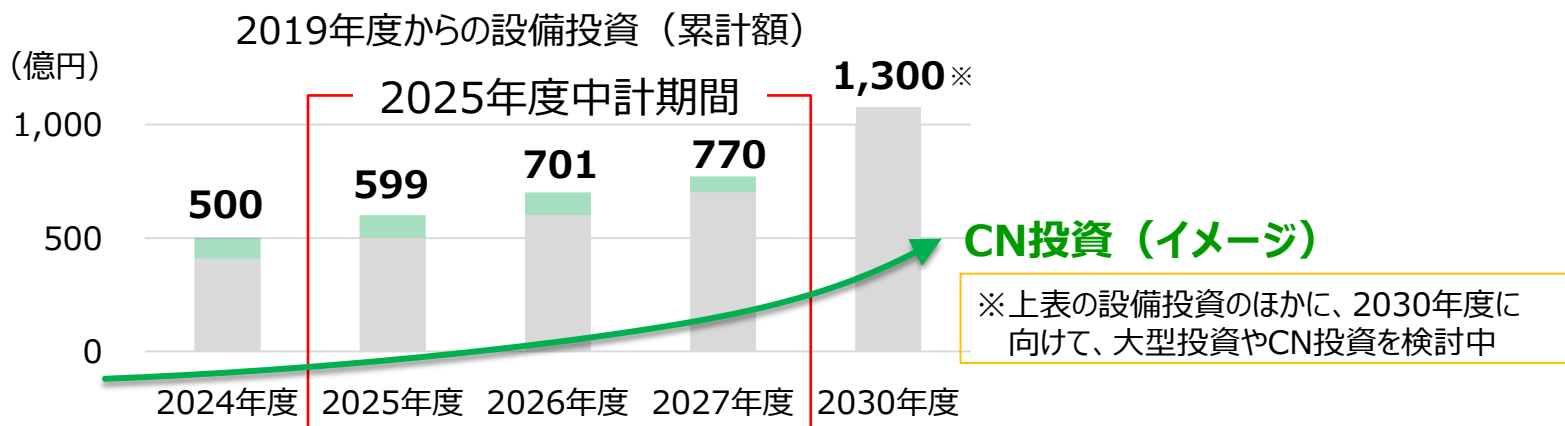
2. 広島ガスグループ中期経営計画

(3) ガス需給・設備投資計画

需給計画		2024年度 (実績)	2025年度 (計画)	2026年度 (計画)	2027年度 (計画)
都市ガス (百万m ³)	家庭用/ 業務工業用	390	389	394	406
	卸供給等*	89	102	104	113
LPG (千t)		83	81	82	83

* 液売り・CNGを含む

広島ガスグループ設備投資	2024年度 (実績)	2025年度 (計画)	2026年度 (計画)	2027年度 (計画)
設備投資合計額 (内、CN投資)	90億円 (12億円)	99億円 (15億円)	101億円 (15億円)	69億円 (10億円)



3. トピックス

- (1) 「このまち電気」の販売開始
- (2) 国内の林地残材を利用したバイオマス発電事業の実施

3. トピックス

(1) 「このまち電気」の販売開始

市場連動型電気料金メニュー「このまち電気」の販売を
2025年2月より開始



なっとく、あんしん、自分らしい。

このまち電気

POINT.1

クリアで
納得のいく料金

POINT.2

変動がゆるやかで
安心できるメニュー

POINT.3

自分らしい
使い方
工夫できる

上手な使い方をサポート！

現在の
電気料金単価

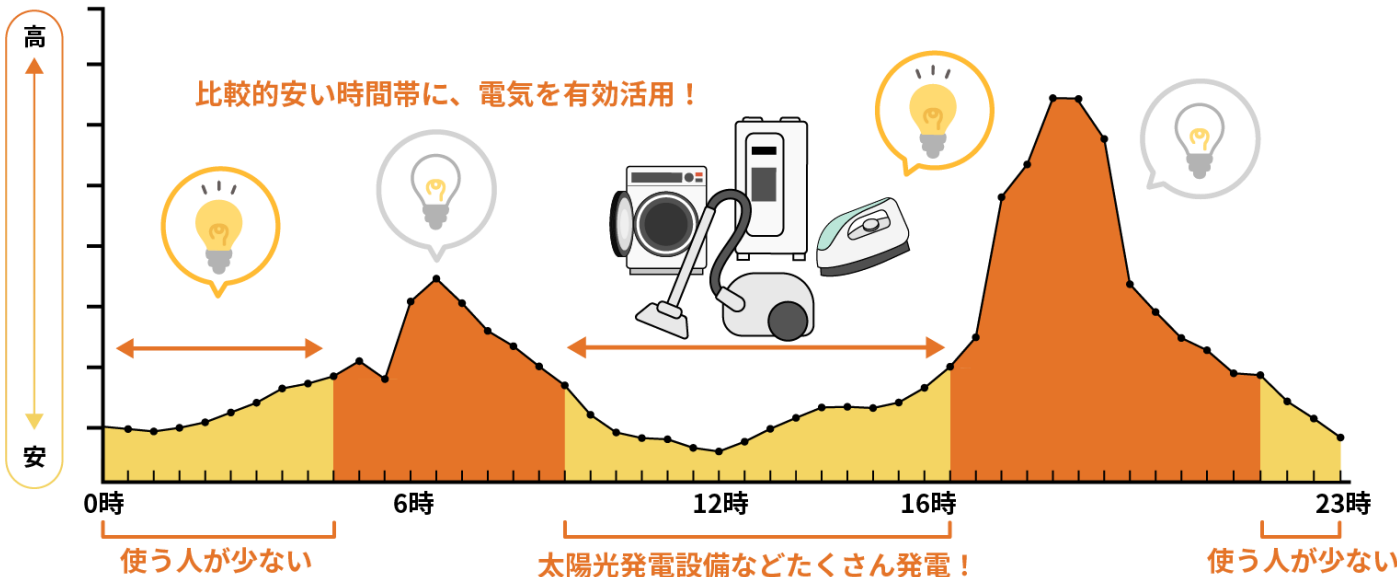
電気の料金単価が
安い時間帯

電気の料金単価が
高い時間帯

料金単価

1日の電気市場価格推移(イメージ)

比較的安い時間帯に、電気を有効活用！



3. トピックス

(2) 国内の林地残材を利用したバイオマス発電事業の実施

FIP制度※を活用したバイオマス発電事業の実施に向けた
プラント建設工事を開始



再生可能エネルギー電源の開発を 着実に推進

- ✓ **発電所名**
 - ・ 大野浦バイオマス発電所
- ✓ **発電規模**
 - ・ 1,990kW
- ✓ **想定発電量**
 - ・ 約13,800MWh/年
(一般家庭約3,200世帯分の年間
電力使用量に相当)
- ✓ **想定CO₂削減貢献量**
 - ・ 約6,165t/年
- ✓ **営業運転開始**
 - ・ 2026年7月 (予定)

※FIP制度:再生可能エネルギー発電事業者が発電した電気を卸電力取引市場や相対取引で売電した場合に、電力広域的運営推進機関が発電事業者に対し、基準価格 (FIP価格) と参照価格 (市場取引等の期待収入) の差額をプレミアム (補助額) として交付する制度

- ▶ 本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、
- ▶ 当社が現在入手している情報および合理的であると判断する
- ▶ 一定の前提に基づいており、実際の業績は今後のさまざまな
- ▶ 要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。



このまち思いエネルギー。

広島ガス

(ご参考) 会社概要

- お客さま件数 41万8千件 (2025年3月31日現在)
- 都市ガス供給区域 広島県内の7市4町
- 広島県東部地区にて福山ガスに卸供給

- 東京証券取引所プライム市場に上場 (2022年4月4日)
- 証券コード 9535
- 単元株式数 100株
- 発行済株式総数 68,603,372株 (2025年3月31日現在)



供給区域と体制



(ご参考) 主要決算数値

【ご参考】主要経営指標(過去10年)

	(百万円)									
	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024
売上高	76,303	70,002	73,717	81,842	82,268	73,250	76,802	95,219	90,670	91,595
営業利益	5,475	3,812	2,920	1,926	2,971	3,293	3,207	7,021	3,185	1,252
経常利益	5,775	4,310	3,506	2,509	3,454	3,467	4,616	7,412	3,375	1,909
親会社株主に帰属する当期純利益	3,647	5,560	2,499	1,971	2,153	5,272	3,662	5,216	2,329	1,687
減価償却費	7,091	6,858	7,269	7,349	7,344	7,360	7,422	7,312	7,352	7,555
営業キャッシュフロー(※1)	10,739	10,313	9,319	9,320	9,564	12,732	11,270	12,529	9,682	9,243
設備投資額	9,851	8,267	7,401	7,377	6,735	7,147	8,512	8,618	9,971	9,064
フリーキャッシュフロー(※2)	887	2,045	1,918	1,942	2,829	5,584	2,757	3,910	-289	179
総資産	102,357	102,363	102,717	104,935	107,139	115,477	123,802	141,996	137,628	129,593
自己資本(資本)	39,961	45,825	48,332	48,019	49,274	56,769	61,867	64,539	67,128	68,256
有利子負債	37,350	36,310	34,455	36,293	38,616	40,074	45,397	59,772	47,528	44,832
EBITDA	12,567	10,670	10,190	9,275	10,315	10,654	10,630	14,334	10,538	8,808
ROA(%) (※3)	3.6	5.4	2.4	1.9	2.0	4.7	3.1	3.9	1.7	1.3
ROE(%) (※3)	9.4	13.0	5.3	4.1	4.4	9.9	6.2	8.3	3.5	2.5
自己資本比率(%)	39.0	44.8	47.1	45.8	46.0	49.2	50.0	45.5	48.8	52.7
EPS(円)	55.7	82.0	36.8	29.1	31.8	77.5	53.7	76.4	34.0	24.6
BPS(円)	590.1	675.2	715.2	709.0	725.8	833.4	906.6	944.0	980.1	995.0
配当性向(%)	12.6	9.8	21.7	27.5	28.3	12.9	18.6	15.7	35.3	48.7
D/E レシオ(倍)	0.9	0.8	0.7	0.8	0.8	0.7	0.7	0.9	0.7	0.7

※1「営業キャッシュフロー＝当期純利益＋減価償却費」により算定

⇒FY2016、FY2017、FY2019、FY2020、FY2021はキャッシュを伴わない特別損益を加減

〈FY2016〉債務免除益2,105百万円 〈FY2017〉退職給付制度改定益449百万円〈FY2019〉投資有価証券評価損△66百万円

〈FY2020〉減損損失△98百万円 〈FY2021〉減損損失△86百万円、投資有価証券評価損△98百万円

※2「フリーキャッシュフロー＝営業キャッシュフロー－設備投資額」により算定

※3 ROA・ROE算定の総資産・自己資本は期首・期末の平均値



(ご参考) 販売量データ

【ご参考】ガス販売量推移(過去10年)

		FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024
家庭用	販売量(百万m3)	100	99	104	98	97	103	103	95	93	93
	対前期比(%)	-3.5	-0.9	4.8	-5.2	-1.5	6.9	-0.4	-7.6	-2.0	0.0
商業用	販売量(百万m3)	43	44	45	43	43	35	35	37	37	38
	対前期比(%)	-3.3	1.9	2.5	-4.0	-1.3	-18.3	0.9	3.6	1.0	4.0
工業用	販売量(百万m3)	242	255	271	326	313	304	298	255	230	220
	対前期比(%)	-0.0	5.4	6.3	20.3	-3.9	-3.0	-1.8	-14.5	-9.8	-4.3
その他用	販売量(百万m3)	36	38	38	36	35	35	35	35	34	37
	対前期比(%)	-2.7	5.8	1.5	-5.6	-3.7	1.5	-0.7	0.7	-4.1	7.7
卸供給等	販売量(百万m3)	60	56	58	77	106	90	92	76	85	69
	対前期比(%)	-3.9	-5.9	3.6	30.9	38.1	-15.3	2.3	-17.5	11.7	-18.5
合計	販売量(百万m3)	483	494	519	583	596	569	566	500	481	459
	対前期比(%)	-1.8	2.4	5.0	12.3	2.3	-4.4	-0.6	-11.7	-3.8	-4.4